

# 令和7年度 公共事業再評価調書

## 1. 事業説明シート

(区分) **国補** ・ 県単

<b>事業名</b>	道路事業 [国道橋りょう修繕事業 (国補)]		<b>事業箇所</b>	みなみつるぐんふじかわぐちこまちあざがわ 南都留郡富士河口湖町浅川	<b>地区名</b>	国道137号 (浅川工区)	<b>事業主体</b>	山梨県																							
<b>計画期間</b>	当初計画	現計画	④特記事項 (関連事業概要等) 国道137号 船津工区 (電線管理者施工) H5 単独地中化 L=905m																												
	R1~R9	~							変更計画	R1~R16																					
<b>総事業費</b>	700 百万円	- 百万円	1,150 百万円	⑤これまでの評価状況 なし																											
<b>(1) 事業の概要</b>																															
①事業目的及び効果				②事業位置図等																											
<p>国道137号は、富士吉田市上吉田を起点とし、笛吹市石和町下平井を終点とする主要な幹線道路であり、第二次緊急輸送路及び富士山噴火広域避難路に指定されている。このため、台風や地震、富士山噴火といった災害時に、緊急輸送道路の機能確保を図る必要がある。また、船津小学校の通学路に指定されているが、片側歩道であり路肩も狭いため非常に危険な状況である。さらに、当該地区は県内有数の観光地であり、景観への配慮も求められている。</p> <p>以上のような防災機能確保、歩行者の安全確保及び景観への配慮といった観点から、電線共同溝の整備及び歩道の計画・整備を行う必要がある。</p> <p>□主要目標 ○都市災害防止 緊急輸送路指定：有 (第二次緊急輸送道路) 自動車交通量：4,438台/12h &gt; 3,340台/12h (平日) 以上 ※ 他事業との連携：整備済区間に連続する区間有 ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保</p> <p>□副次効果 ○ライフラインの強化 ○緊急時の避難・救助機能の確保 ○被災時の被害波及の防止</p>																															
②事業概要																															
<p>電線共同溝工・道路改良 (歩道設置) L=500m W=6.0(12.5)m 橋梁工 N=2基</p>																															
③全体計画				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和6年度まで</th> <th>令和7年度 (評価実施年度)</th> <th>令和8年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現計画</td> <td>工事内容</td> <td>測量・設計 用地取得及び補償 道路改良工事・電線共同溝工事</td> <td>道路改良工事・電線共同溝工事・橋梁工事</td> <td>道路改良工事・電線共同溝工事・橋梁工事・舗装工事・連系工事・引込工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>420 百万円</td> <td>100 百万円</td> <td>180 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">変更計画</td> <td>工事内容</td> <td>測量・設計 用地取得及び補償</td> <td>用地取得及び補償</td> <td>用地取得及び補償 道路改良工事・電線共同溝工事・橋梁工事・舗装工事・連系工事・引込工事</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>151 百万円</td> <td>14 百万円</td> <td>985 百万円</td> </tr> </tbody> </table>							令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降	現計画	工事内容	測量・設計 用地取得及び補償 道路改良工事・電線共同溝工事	道路改良工事・電線共同溝工事・橋梁工事	道路改良工事・電線共同溝工事・橋梁工事・舗装工事・連系工事・引込工事	事業費	420 百万円	100 百万円	180 百万円	変更計画	工事内容	測量・設計 用地取得及び補償	用地取得及び補償	用地取得及び補償 道路改良工事・電線共同溝工事・橋梁工事・舗装工事・連系工事・引込工事	事業費	151 百万円	14 百万円	985 百万円
		令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)						令和8年度以降																						
現計画	工事内容	測量・設計 用地取得及び補償 道路改良工事・電線共同溝工事	道路改良工事・電線共同溝工事・橋梁工事	道路改良工事・電線共同溝工事・橋梁工事・舗装工事・連系工事・引込工事																											
	事業費	420 百万円	100 百万円	180 百万円																											
変更計画	工事内容	測量・設計 用地取得及び補償	用地取得及び補償	用地取得及び補償 道路改良工事・電線共同溝工事・橋梁工事・舗装工事・連系工事・引込工事																											
	事業費	151 百万円	14 百万円	985 百万円																											
<p>※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。</p>																															

## 2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化  
（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

### ①地域・住民の意向状況

変化なし

### ②産業・経済情勢

労務費・建設資材費の上昇

### ③国等の方針

変化なし

### ④上位計画・関連事業計画等

- ・山梨県総合計画（令和5年10月策定）
- ・山梨県強靱化計画（令和6年3月改定）
- ・山梨県社会資本整備重点計画（第四次）（令和4年9月改定）
- ・山梨県道路の整備に関するプログラム（令和7年3月改定）

### ⑤自然環境条件等

変化なし

### ⑥その他

変化なし

### （2）評価時点の費用対効果分析

※道路改良事業であるが、局地的な部分改築（歩道設置）であるため費用便益比は不算出

#### ○電線共同溝の必要性

本路線は第二次緊急輸送路及び富士山噴火広域避難路に指定されているため、台風や地震、富士山噴火といった災害時に緊急輸送道路の機能確保を図る必要があること、また、当該地区は県内有数の観光地であり、景観への配慮も求められていることから、電線共同溝を整備すべきである。

#### ○道路機能

船津小学校における通学路の指定、オーバーツーリズムによる観光客の増にもかかわらず、現道は片側歩道であり路肩も狭く、歩行者・自転車が混在し非常に危険な状況である。歩行者等の安全性の確保のため、歩道を整備すべきである。

### （3）これまでの計画変更等の概要

なし

評価シート（２）

**（４）事業進捗状況及び見込み**

①進捗率  
別表のとおり。  
R7年度進捗率（現計画）74.3%→（実績）23.6%→（変更計画）14.3%

②進捗率実績が計画と相違している理由  
用地取得に時間を要しているため。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
工事費の増減	450 百万円 増	・路肩幅員及び電線共同溝設置位置の変更による工事費の増額。 ・橋梁工事における基礎工、仮設道路等の追加による工事費の増額
合計	450 百万円 増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定  
用地取得交渉が難航したことにより、工事着手が遅れているため、工期を7年間延長する。未取得の用地については、引き続き早期契約に努め、令和10年度までにすべての地権者と契約することを目標とし、令和16年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点  
引き続き未契約者との用地交渉に努めるとともに、適切な工程管理のもと計画どおり工事を進捗させる。

**（５）環境負荷等への配慮**  
なし

**（６）コスト縮減の可能性**  
なし

**（７）代替案立案の可能性**  
なし

**（８）所管部の今後の方針** 継続 **見直し継続** その他（ ）  
(理由)  
当該工区は、近年問題となっているオーバーツーリズムにより、観光客を中心とした歩行者、自転車の交通量が非常に多い状況であるにも関わらず、現道は片側歩道であり、路肩も狭く危険な状況であるため、歩行者等の安全性の確保の観点から必要な事業である。これまで用地取得が難航していたが、鋭意用地交渉を進めていき、令和9年度までに道路改良工事及び電線共同溝工事の着手、また橋梁部においても令和11年度の工事着手を目指す。事業費の見直し及び事業期間を7年延長し、令和16年度の完成を予定している。

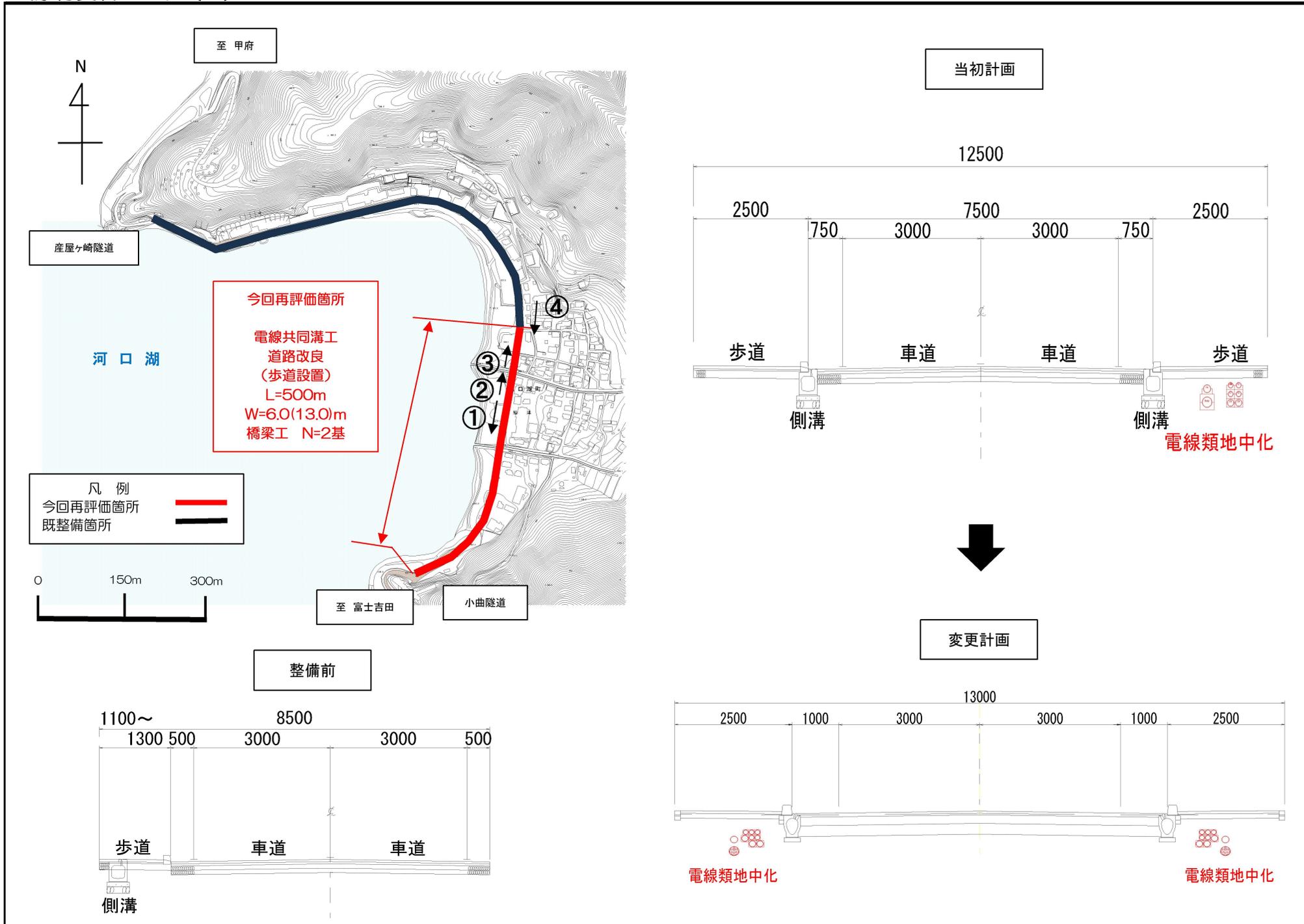
○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

	年度	*R1	R2	R3	R4	R5	R6	*R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16		
現	計画	2.9	10.0	17.1	31.4	45.7	60.0	74.3	92.3	100.0									
	実績	1.2	10.7	13.0	19.6	21.5	21.5	23.6											
	変更計画							14.3	15.7	27.8	40.0	57.4	74.8	87.8	91.7	95.7	100.0		

\*事業着手年度又は評価年度  
\*R7年度の実績は見込み

### 3.添付資料シート(1)



### 3.添付資料シート（2）



写真① 自転車通行の状況（湖側車線）



写真② 観光バス等の交通混雑状況



写真③ 用地買収済箇所の状況



写真④ 歩道未整備の状況（山側車線）

#### 4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
R 1	8,179	地質調査	0.7%
R 2	66,631	測量・詳細設計・地質調査・用地測量調査業務	6.5%
R 3	16,204	用地取得及び補償	7.9%
R 4	46,242	用地取得及び補償	11.9%
R 5	13,343	用地取得及び補償	13.1%
R 6	0	—	13.1%
R 7	14,401	用地取得及び補償	14.3%
R 8	15,000	用地取得及び補償	15.7%
R 9	140,000	用地取得及び補償・道路改良工事・電線共同溝工事	27.8%
R 10	140,000	用地取得及び補償・道路改良工事・電線共同溝工事	40.0%
R 11	200,000	道路改良工事・電線共同溝工事・橋梁工事	57.4%
R 12	200,000	道路改良工事・電線共同溝工事・橋梁工事	74.8%
R 13	150,000	道路改良工事・電線共同溝工事・橋梁工事	87.8%
R 14	45,000	橋梁工事	91.7%
R 15	45,000	橋梁工事	95.7%
R 16	50,000	舗装工事・連系工事・引込工事	100.0%
合計	1,150,000		